

1 キリスト教教理入門

1

1. 神学をすること
2. 神の啓示
3. 神の性質
4. 神のみわざ
5. 人間
6. 罪

2

7. キリストの人格
8. キリストのみわざ
9. 聖霊
10. 救い
11. 教会
12. 終末

2 第四部 神のみわざ

- 12章 神の計画
- 13章 神の原初のみわざ: 創造
- 14章 神の継続的働き: 摂理
- 15章 悪と神の世界: 特殊な問題
- 16章 神の特別な代理人: 天使

3 第12章 神の計画

1. 鍵となる定義
2. 聖書の教え
 1. 用語
 2. 旧約聖書の教え
 3. 新約聖書の教え
3. 神の計画の性質
4. 論理的優先順位: 神の計画か人の行為
5. 穏健カルヴァン主義
6. 歴史についての種々の理解

4 1. 鍵となる定義

1. 神の計画とは?
2. 用語を明確にする。

5 2. 聖書の教え:

旧約聖書の教え

1. 愛に満ちた人格のお方
2. 雨を送られる神
3. 悪者さえ、くじ投げさえ

6 2. 聖書の教え:

新約聖書の教え

1. イエス: 神の計画のゆえに必ず
2. 使徒たち: 神の計画と予知のゆえに
3. パウロ書簡: 生まれる以前から

7 ☐

3. 神の計画の性質

1. 永遠の昔から
2. 神の側で自由なもの
3. 目的は神の栄光
4. 全包括的
5. 有効性
6. 神の決定・行為
7. 創造・保持・導き・贖い
8. 人間の行為も含む
9. 詳細においても不変

8 ☐

5. 穏健カルヴァン主義モデル

1. 神の計画の無条件の性質

1. 聖書における「予知」の概念とは？
2. ヤコブとエサウ、陶器師と土のかたまり

9 ☐

5. 穏健カルヴァン主義モデル

2. 人間の自由の意味

1. 「確かにする」と「必要とする」
2. 「私が自由である」とは？
3. 誰が諸要素を決定したのか？
4. 私がどのような者であるかによって
5. 相応主義について

10 ☐

5. 穏健カルヴァン主義モデル

1. 神の意志と人間の自由

1. 予測の可能性
2. 自由の定義
3. 予知と予定の相違

11 ☐

5. 穏健カルヴァン主義モデル

4. 神の願いと神の意志

1. 「確かにする」と殺人
2. 神の「願い」と神の「意思」
3. 両親と子供

12 ☐

5. 穏健カルヴァン主義モデル

5. 神の意志と人間行為の必要

- ・伝道・証しは、神の手段

13 ☐

6. 歴史についての種々の見解

1. 循環的な歴史観
2. 最後の審判の日の哲学
3. 悲観的な哲学: 実存主義

- 4.楽観的な見方:進化論的
- 5.弁証法的唯物主義:共産主義
- 6.明確なゴール:キリスト教歴史観